

# 『 C型肝炎 最新薬剤情報 Vol 1 』

肝臓川柳



『併用を テラプレビルで 待って～ら』

(待って～ら・・・て～ら・・・テラ...) スランプだ・・・

### ▼ちょっとおさらい▼

C型慢性肝炎はよく下記のような4つのグループに分けられます。

1型 高ウイルス群 | 2型 高ウイルス群

1型 低ウイルス群 | 2型 低ウイルス群

C型慢性肝炎の患者さんの中でも難治である HCV1 型高ウイルス例（日本人の 70%を占めます）の標準治療は『ペグインターフェロン+リバビリン併用療法 48 週間～72 週間』であり、保険診療として現在さかんに行われていますし、国からの補助もされています。IFN 単独治療時代は 5%位の人しか治癒（HCV 駆除）しなかったのですが、現在は約 50%が治癒します。それでも 50%は治らなかつたとも言われます。

### ★いよいよ★

来年より、新規抗ウイルス剤であるテラプレビル（NS3/4 プロテアーゼ阻害剤）が登場します。

テラプレビル |—————| 12 週

IFN + RBV |—————| 24 週

このお薬を 12 週間投与とペグインターフェロン+リバビリン併用療法 24 週間を合わせると、全体で約 80%の人が治癒します。

細かく言うと、

- ・初回投与の人・・・ 75%
- ・再燃し再治療の人・・・ 90%以上 の治癒率です。
- ・前回全く無効だった人・・・ 30% と低い治癒率ですが、
- ・投与期間を延長すると・・・ 50%以上 に上がります。

ただし、貧血、湿疹の副作用があります。

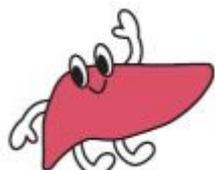
### ●これからの展望●

まだ将来（4年くらい後）ですが、改良型の NS3/4 プロテアーゼ阻害剤（TMC-435）ですと、副作用が少なく、全体で 90%以上の治癒が期待出来るとの事です。また、他の新規経口抗ウイルス剤も出てくるのですが、

新規経口剤同志を合わせて投与する治験も始まっており、  
将来インターフェロンがいらなくなるかも知れません。

おっと・・・今回はここまで。

この話の続きは次回をお楽しみに！



これだけ覚えておけば損はない！

今 回 の ポ イ ン ト

いよいよ来年から、新規抗ウイルス剤であるテラプレビル（NS3/4 プロテアーゼ阻害剤）が登場します。『テラプレビル+インターフェロン+リバビリン』80%以上の治癒率が報告されています。

それ以外にも今後まだまだ新薬が出てくる予定があります。

（ 文： 福井県肝疾患診療連携拠点病院協議会 野ッ俣 和夫）